

# 令和4年度 岡山県立倉敷南高等学校 学校経営計画書

## ○本校のミッション（使命、存在意義）

グローバル化に対応した学びを推進し、幅広い知識と教養を培う普通科高校として、個に応じた指導や、社会と自分の生き方を関連づけて考え、国際的な視野を広げる教育活動を通して、グローバル社会で活躍し、その発展に貢献する人材の育成を目指す。

## ○学校教育目標

「自律・友愛・進取」の精神を実践し、グローバル社会で貢献・活躍できる人を育てる

## ○学校内外の環境分析

- 1 校 内
  - ・高い資質を持ち、他者を思いやることができる生徒が多い。
  - ・特色ある学校設定科目や少人数・習熟度別授業など、個に応じた教育を行う環境がある。
  - ・地域と連携した学習機会、国際交流活動が充実している。
- 2 校 外
  - ・進学を重視した単位制普通科高校として、地域から高い評価を得ている。
  - ・地域に同窓生が多く、さまざまな面で支援を得やすい。
  - ・倉敷市街地のすぐ南に位置し、教育環境にも自然環境にも恵まれている。

## ○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン（将来像、目指す姿）

### 【実現したい学校の姿】（令和3年度策定）

生徒一人一人が生き生きと学び、能力を最大限に伸ばす「魅力ある進学校」

- 1 カリキュラムマネジメントを進め、探究でつながる学びで未来創造力を育む。
- 2 個に応じた多様な学習指導を進化させ、個々の学力を最大限に伸ばす。
- 3 高い志を育む、系統的なキャリア教育計画に基づいた進路指導が充実している。
- 4 本物から学ぶ体験を通して、地域を考察させ、グローバルな視野を育成する。
- 5 文武両道を実践し、生徒一人一人の自律性と豊かなつながりを育む。
- 6 充実した高校生活を送れる、安心・安全で快適な学習環境がある。
- 7 学校から地域、地域から学校へと、双方向に開かれた学校が実現している。
- 8 教職員が協働して取り組める組織があり、PDCA サイクルが機能している。

## ○本年度の具体的な学校経営目標

- 1 個別最適化に対応し、学力を最大限に伸ばす学習指導
- 2 3年間を見通したキャリア教育計画に基づいた進路指導
- 3 自律性と豊かなつながりを育む生活指導
- 4 PDCA サイクルが機能する協働的な教職員組織

## ○国・県事業

（県）「運動部活動方針」実践推進事業 ライトスポーツ実践モデル校

## 1 個別最適化に対応し、学力を最大限に伸ばす学習指導

### (1) 個を生かすカリキュラムづくり

- ・新学習指導要領に対応するカリキュラム作成
- 進学重視型単位制を有効に活用した進学校としてのバランスのよい教育課程の構築
- 少人数・習熟度別授業、多様な進路に応じた選択科目、探究活動の充実

### (2) 学力を最大限伸ばす取り組み

#### ① 共通理解を持つ

- ・年次を越え、全教職員が学力状況を把握、対応策に共通理解を持って取り組む
- 教科会議で実力考査・校外模試の結果分析、職員会議で校外模試の結果を全校共有、入試報告会で3年間の指導のフィードバック

#### ② 授業力・教科指導力向上

- ・3年実力考査問題作成を教科全員で検討
- ・「倉南学習指導の指針」作成、「思考力・判断力・表現力」を伸ばす多様な学びを進める授業実践
- 習熟度別授業の研究、先進校訪問、公開授業への外部講師招聘、研修プログラムへの参加・共有
- ・入試問題研究 共通テスト、難関大・ブロック大問題の傾向分析・対策

#### ③ 自律した学習者の育成

- ・質の高い学びの場への参加、学習方法が確立できる指導、互いに学びあう仲間づくり

### (3) 実践的英語力を伸ばすグローバル活動

英語科と総務課の連携、「グローバルプログラム」作成

#### ① 英検対策学習システムの構築

- 英検準会場2回実施、葦岡セミナーを活用した対策講座、オンライン英会話の導入
- スタディ・サプリ ENGLISH の有効活用

#### ② 国際交流機会の充実

- オンライン国際交流校の開拓、短期校内留学 Empowerment Program の工夫

## 2 3年間を見通したキャリア教育計画に基づいた進路指導

### (1) 進路実現につながる系統的なキャリア教育プログラムの構築

探究課と進路課の連携

- ・「キャリアロードマップ」「進路カレンダー」作成:課題探究と進路探究の往還と連携
- 3年間の計画「キャリアロードマップ」に基づき、年次の計画「進路カレンダー」を作成。
- さらに、各年次で「進路だより」を通して、時期に応じた進路情報を発信。

### (2) 意図的・計画的な面談・学習実態調査等

- ・進路指導に関する取組の意図や目的を明文化し、共通理解をもって取り組む。
- ・年間行事予定に「面談週間」「学習実態調査期間」を入れ、時期を明確にする。

### (3) 高い志（難関大学志望者）の育成

- ・早期からの取組み、意識づけ・学習サポート・集団作りの倉南スタイルを構築
- 進路課・年次団・教科担任で連携、継承・発展

### (4) キャリアパスポートと連動したe-portfolioの活用

- ・倉南e-portfolioを作成。キャリアパスポートと連携し、年間の指導計画を策定

## 3 自律性と豊かなつながりを生み出す生活指導

### (1) 生徒が主体的に活躍できる場・仕組みづくり

- ・部活動と学習を両立させる徹底したタイムマネジメント
- ・可能性を伸ばす幅広い教育活動、校内外の学習機会への積極的参加
- 「運動部活動方針」実践推進事業 ライトスポーツ実践モデル校
- ・校則の見直し

### (2) 生徒をエンパワーし、自治能力を高める集団づくり

- ・生徒会活動・各種委員会の活性化、「生徒会活動計画」の作成
- ・エネルギーをプラスに収束できる学級・学年・学校行事

### (3) 豊かなつながりをもつ集団づくり

- ・各年次で初期指導の充実、人間関係づくり・コミュニケーションプログラム・あいさつ
- ・教育相談を中心に、特別支援、いじめ防止対策を連動させた教育相談システムの構築

## 4 PDCAサイクルが機能する協働的な教職員組織

### (1) 協働的な組織運営

- ・課リーダー会議の要項と報告を作成し、課のメンバーに周知
- ・課長、副課長を中心に、チームリーダーで分掌の仕事の分担、平準化
- 課員の業務進捗状況を把握し、アドバイス・サポート
- ・業務マニュアルの作成
- ・課と年次のよりよい連携体制

### (2) PDCAサイクルの確立

- ・学校評議員会・学校関係者評価委員会、自己評価アンケート結果などの情報の共有
- ・年度末総括（教科、年次、分掌）の実施、次年度教育活動の改善

### (3) 業務のICT化など、業務の効率化へのさらなる工夫

- ・サーバーのファイルホルダーの整理
- ・google-calendar を中心とした学校情報メディアの整理